

泌尿器科 初期研修プログラム

【研修責任者】 諸井 誠司

【一般目標】

泌尿器科診療に必要な知識を習得する。

【行動目標】

1. 泌尿器科の診察から診断、治療への流れを習得する。
2. 泌尿器科の基本的検査法の手技を習得する。
3. 泌尿器科の画像読影、臨床データの解釈ができる。
4. 泌尿器科の基本的処置を習得する。
5. 泌尿器科の基本的治療法を理解し、習得する。
6. 診療に関連した文献等資料を適切に検索し、提示することができる。

【研修内容】

外来診察

1. 問診を行い、理学的所見を取り、診療録に記載する。
2. 必要な画像検査の指示を出して読影を行う。
3. 指導医の診察、説明、治療を見学する。
4. 尿道カテーテル留置やブジー等の基本的手技を理解し施行する。

入院診察

1. 主治医とともに担当医として患者を受け持つ。
2. 入院から治療、退院までの流れ（術前計画、インフォームドコンセントの取得、術後管理など）の実際を体験する。

手術

1. 手術内容を理解し、第一助手、第二助手として手術に立ち会う。
2. 後腹膜臓器、男性外性器の解剖について理解を深める。
3. 基本的外科手技（糸結び、縫合など）を習得する。
4. 泌尿器科的内視鏡を理解し、簡単な手技（膀胱内観察など）を習得する。

救急診療

1. 救急患者が来院した場合は、上級医とともに診療にあたる。
2. 尿路感染症、尿路結石症、尿閉、急性陰嚢症などの泌尿器科救急疾患について診断、処置を行う。
3. 緊急手術や入院の必要性を判断する能力を養う。

抄読会、カンファレンス

毎週月曜日の論文抄読会、水曜日の手術症例、病棟カンファレンスおよび金曜日の病理、外来レントゲン・カンファレンスに参加する。

【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金
午前	7:40 論文抄読会 外来 手術	外来	7:40 手術症例、病棟カンファレンス 病棟回診 外来 手術	外来	7:40 病理、レントゲンカンファレンス 外来 手術
午後	手術	検査	手術	検査	手術

【研修評価】

研修終了時に、部長およびスタッフが研修医の評価を行う。
研修医も自己評価および研修診療科と指導医の評価を行う。